

画期的な危険予知トレーニングツール

1) 映像の登録

お客様の職場環境などに対応した映像をかんたんに登録することができます。



2) ヒヤリハット正解の登録

講師は危険と思われるヒヤリハット箇所をピンポイントで映像に登録することができます。



3) きめ細かい設定ができるヒヤリハット情報

「飛び出し注意」などの注意タイプや、タイミング、重み付け、コメントなどきめ細かい情報を設定することができます。



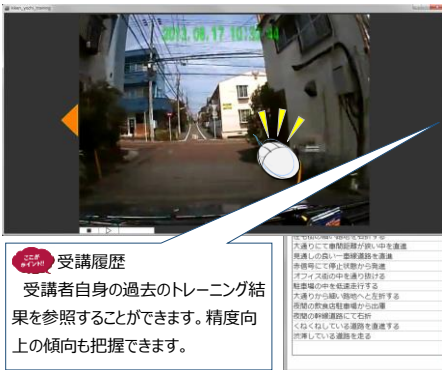
- 注意タイプの設定**
注意タイプはジャンルごとに設定することができますので、様々な動画に応じたヒヤリハット情報が設定できます。
トレーニング終了後、設定した注意タイプごとに判定結果を確認することができますので、受講者の見逃しやすい傾向や苦手な作業などを的確に把握することができます。
- 時間幅の設定**
運転速度や、対象物までの距離などによって注意箇所気づくまでの時間はそれぞれ異なりますので、クリックしてから前後何秒までを正解とすることができます。
- 得点の設定**
特に注意して欲しい箇所については、正解時の得点に重みを付けることができます。
- 講師コメントの設定**
「なぜ注意しなければならないのか？」などの講師の意図をコメントとして設定できます。受講者はトレーニング終了後、コメントを参照することができます。

正解エリアの設定
動画上で正解とする箇所の範囲を円や楕円で設定することができ、そのサイズも自由に変更することができます。

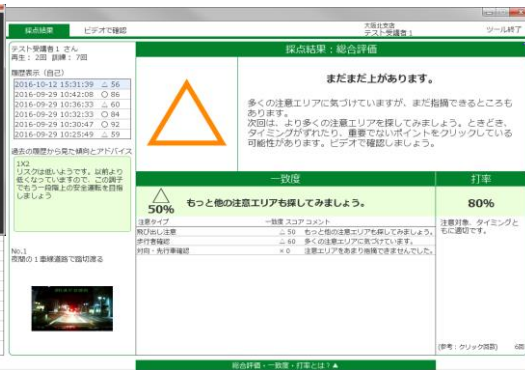
4) トレーニング

操作はいたって簡単。受講者は映像が流れていく中でヒヤリ・ハットする箇所をマウスでクリックしていただく。

トレーニング後
瞬時に判定



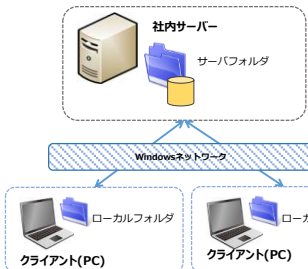
受講履歴
受講者自身の過去のトレーニング結果を参照することができます。精度向上の傾向も把握できます。



- 総合判定**
一致度と打率の加重和で判定します。
- 一致度**
「漏れなく注意箇所をクリックできたか」10箇所の注意箇所の内、5箇所をクリックすれば50%。
- 打率**
「無駄なく注意箇所をクリックできたか」10回クリックして、正解クリックが3回であれば30%。

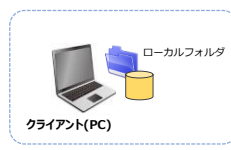
製品構成

【クライアント・サーバ版】



サーバ	OS	Windows2008以上 32bit/64bit
	メモリ	2GB以上 (推奨4GB以上)
	HDD	100MB以上の空き容量があること (動画本数に依存)
クライアント	OS	Windows7以上 32bit/64bit
	メモリ	2GB以上 (推奨4GB以上)
	HDD	100MB以上の空き容量があること (動画本数に依存)
	Java	JRE 1.6.0_20 以上で、1.6,1.8での動作確認済み
	画面解像度	縦1360以上×横768以上

【スタンドアロン版】



アースインターシステムズ株式会社

https://www.earthinter.co.jp/ E-mail: info@earthinter.co.jp

大阪: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル2F TEL.(06)6150-3150 FAX.(06)6150-3151

東京: 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12紀尾井町ビル6F TEL.(03)6824-9073 FAX.(03)6824-9074

関西電力(株)との共同開発

約**4,500**台の車両を保有し、
車両運転認定者**1万人**が、
年間延**3,600万km**の車両走行

現場のドラレコ映像を
有効活用！！

を行っている**関西電力(株)との共同研究の成果！！**

5) 受講結果のセルフチェック ここがポイント!

講師が登録した**正解情報**を元にして、受講者が注意しなければならない箇所を**的確に伝えます**。
さらに映像を通して**講師との比較を確認**することもできます。



タイムラインバー
講師が登録した箇所は青、受講者自身がクリックした箇所は緑のバーで時系列に表示されます。さらに講師と一致している箇所は緑の○が表示されますので、一致しなかった箇所をピンポイントで何度も再生して確認することができます。

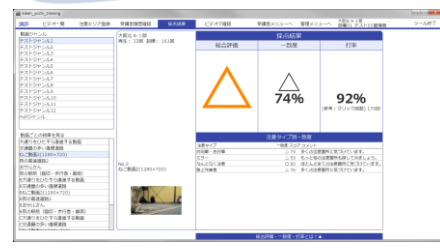
正解情報の確認
講師が登録した正解箇所と、受講者自身がクリックした箇所を時系列に再現し、正解箇所は○、クリック箇所は○で表示します。
受講者は講師との違いをひと目で確認することができ、講師コメントを見ることでその意図も理解できます。

注意タイプごとに確認
さらに注意タイプごとに絞り込んで、比較することができます。これによって得点の低い注意タイプのみ確認することができます。

受講者コメントの入力
受講者自身がクリックした箇所が、講師の注意箇所となっていない場合、疑問や意見をコメントすることで、講師へ意図を伝えることができます。

6) トレーニング結果の活用 ここがポイント!

管理者や講師は**トレーニング結果**を「個人」、「グループ」、「部署」など**様々な切り口から参照**することで、**傾向の分析**や**改善箇所の特定**などに活用することができます。



部署と動画を指定して集計
選択された動画の部署全員の結果を集計します。総合評価、一致度、打率から、その部署の傾向を把握します。



ジャンルと受講者を指定して集計
選択された受講者のジャンル全ての結果を集計します。総合評価、一致度、打率から、その受講者の傾向を把握します。



部署と動画を指定して確認
選択された動画の部署全員のクリックを時系列に表示します。注意箇所ではなくても、受講者のクリックが集中していれば、新たな注意箇所とすることで教材の精度向上にも役立ちます。



受講者と動画を指定して確認
受講者と同じ視点で結果を確認でき、コメントを参照することで、受講者の意図を理解することができます。